



鴨川だより

第24号 令和5年2月7日

生徒が主体的に未来を創る学校

あいさつ指導はなぜ行われる？！

【生徒のみなさんへ】

小学校の頃から、「あいさつをしよう」という先生からの働きかけを受け続けていますね。何で大人はあいさつをしましょう、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」といったあいさつをしようと言いつけるのでしょうか？考えたことはありますか？あなたはあいさつをしていますか？

できるだけ校長先生も朝の登校時に校門に立ってあいさつをするようにしています。多くの生徒は「おはよう！」といえ「おはようございます！」と応えてくれます。でも残念ながら知らん顔して何も言わない生徒もいます。声が出ないのか、面倒くさいのか、恥ずかしいのか、その人によって違うと思いますが、残念でなりません。校長先生は、しばらくの間、市役所で働いていました。その時の市長さんから「あいさつをしましょう。職員間だけでなく、廊下で会った市民の方、あいさつをしましょう」と言われ続けてきました。あいさつとは何なんでしょう？考えてみてください。

私自身、あいさつをしない、あいさつが小さい人に対して、評価を低くしてしまっているなあと思います。「あの人はすごく力はあるけど、あいさつもできないし…」、そう感じてしまいます。他の先生から、この生徒はこんな能力がありますといわれても、「でも、あいさつしないからなあ」と感じてしまうのは正直なところです。

「たかがあいさつ、されどあいさつ」皆さんも高校や大学、職場等の自分の未来の生きる場で「愛される人間」「評価される人間」になるべきだと思います。その中で「あいさつ」は基本中の基本。だから、幼い頃からあいさつをしようという指導が続いているんだと思います。

あいさつが気持ちいい人は、周囲からかわいがられます。あいさつってものすごく重要な生きるためのスキルなんですね。



さあ、気持ちいいあいさつができる人に！

【保護者のみなさんへ】

今年度は、寄島中や里庄中、和氣中等の視察訪問とともに、県教育委員会や市教育委員会の視察も数回ありました。1月には文部科学省の方の視察もあり、本校が進めている生徒主体の教育内容やGIGAスクール推進による学びのICT化、総合的な学習の時間等による探究学習の取組について、高い評価をいただいています。全国的な学校教育の変革の中で、学校は「令和の日本型教育」を目指して変わっていかねばなりません。（以前説明しました）

今後も未来の学校づくりに向けて取組を進めていきたいと思っておりますので、御支援よろしくお願いたします。

★来年度に向けて検討している主な事項

- ①生徒が校則を検討し、自治活動による自律的生活を実現する体制強化
- ②生徒会組織と学級組織を一層リンクさせ自治活動をさらに深化
- ②自動販売機設置による生徒の自己管理意識の醸成（災害時の対応も含む）
- ③2ヶ月周期による到達度確認テスト実施（テストへの向かい方を学習）及び先行学習を基盤とした授業における協同学習実施による学びに向かう力の育成

今後も、生徒を主役にした学校教育を推進します！

生徒用のネット相談窓口を開設しています。悩みがあったら相談してください。右のQRコードからClassroom「荘内よろず相談窓口」に入れます。



【保護者のみなさんへ】

荘内中学校では、生徒の活躍や様々な学校の方針等を随時、学校ホームページで紹介しています。お暇なときにはぜひご覧ください。右のQRコードでご覧いただけます。

